

令和元年度 第2回 静岡県立御殿場特別支援学校 学校評議員会

(並びに御特版コミュニティ・スクール委員会) 報告

- 1 日時 令和2年1月29日(水) 9:45~11:30
- 2 場所 静岡県立御殿場特別支援学校 会議室
- 3 参加者 学校評議員
外部評議員 4人
御特版コミュニティスクール委員
地区代表 7人
PTA代表 3人
学校職員 11人

4 会議次第

- (1) 校長挨拶
- (2) 学校より
 - ① 学校評価
保護者アンケートを受けての報告
 - ② 防災教育
 - ③ 地区・地域を活用した学習の取り組み
 - ④ 進路報告
- (3) 学校参観



5 意見交換・協議

(・出された意見 ⇒学校からの返答)

・地域防災に関して援助を要する家庭の状況が(自身の所属において)更新されていないことに気がついた。当事者が寄せてくれる情報も必要なので、守秘義務・個人情報のある程度許容してもらって市町に挙げてもらうのがよいと思う。

⇒市町会議では、「この場に限って」という条件付きで情報を共有している。(共有情報はその場のみ)家庭でも情報(障害の程度、プライバシーなど)の提供に関する考え方はいろいろだと思う。

・生命・情報を維持するために電力の確保が必要である。特に生命の維持は優先されるべきこと。どのくらい電力が必要になるのかあらかじめ知っておく必要がある。

・地区(同じ組)の方からいただいた要支援者情報を基に、組長がファイルに明記し、ファイリングしている。薬のこと、声かけ等をふくめ、毎年更新していきたい

・オリンピック・パラリンピック(以下オリ・パラ)に関して、御殿場での動きは、2月に説明会を実施した。聖火リレーやロードレースなど目に触れてほしい

⇒学校として地域とどうつながっていくかが目標だったが、いろいろな所で繋がりができてきたと実感している

- ・実際に納品されている製品を作業で作っているのを見せてもらった様子が見られてうれしい、今後も協力していきたい。
- ・日ごろは、要支援者側だが、PTA の活動で避難所設営カードゲーム「HUG(ハグ)」を体験、行政の方と話す機会を設けた 市町によって、行政と福祉との関わりが違う情報の収集の仕方も違うことがわかった